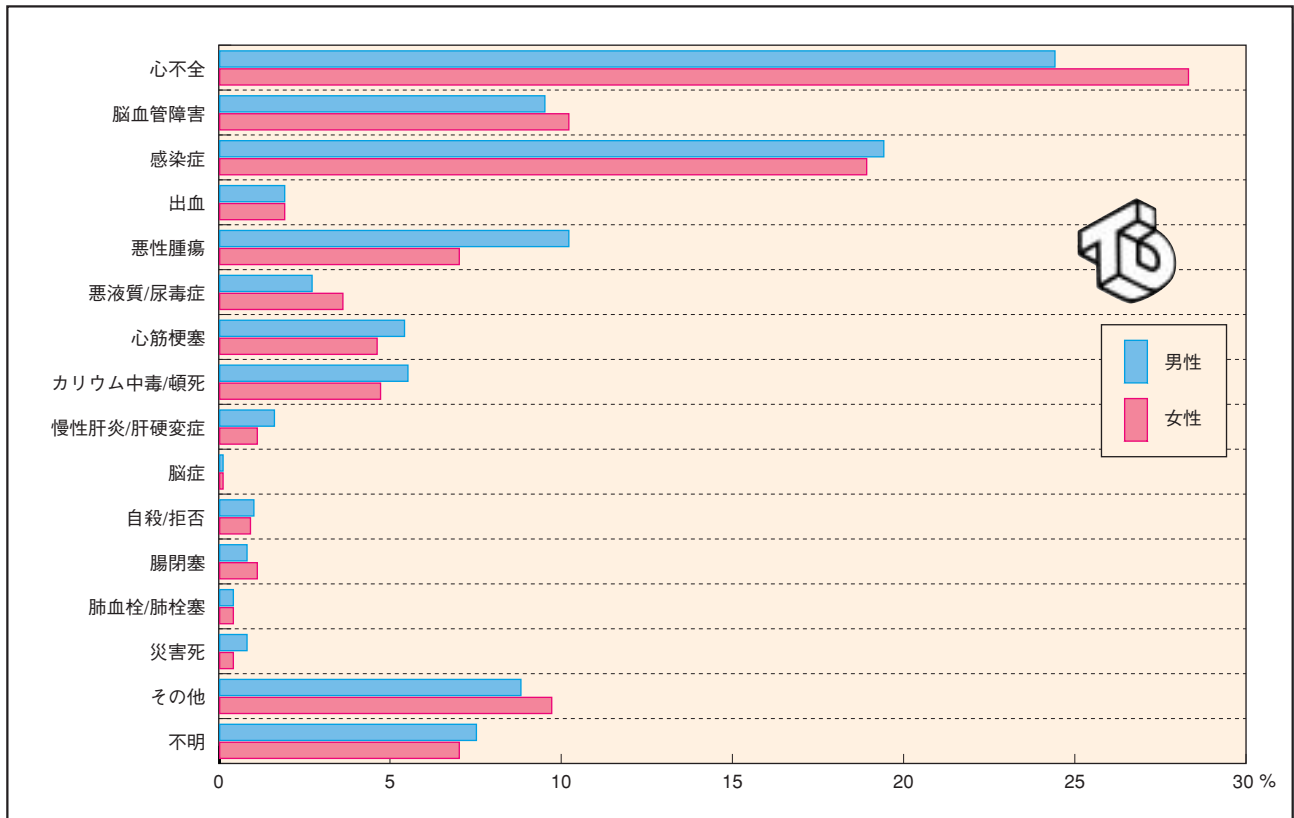


5) 死亡原因

(3) 2005年死亡患者の死亡原因分類 (図表18)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全	3,306 (24.4)	2,290 (28.3)	5,596 (25.8)	5 (27.8)	5,601 (25.8)
脳血管障害	1,289 (9.5)	828 (10.2)	2,117 (9.8)		2,117 (9.8)
感染症	2,632 (19.4)	1,533 (18.9)	4,165 (19.2)	5 (27.8)	4,170 (19.2)
出血	259 (1.9)	156 (1.9)	415 (1.9)	1 (5.6)	416 (1.9)
悪性腫瘍	1,382 (10.2)	566 (7.0)	1,948 (9.0)	2 (11.1)	1,950 (9.0)
悪液質/尿毒症	362 (2.7)	290 (3.6)	652 (3.0)	1 (5.6)	653 (3.0)
心筋梗塞	736 (5.4)	374 (4.6)	1,110 (5.1)	1 (5.6)	1,111 (5.1)
カリウム中毒/頓死	740 (5.5)	379 (4.7)	1,119 (5.2)	1 (5.6)	1,120 (5.2)
慢性肝炎/肝硬変症	221 (1.6)	91 (1.1)	312 (1.4)		312 (1.4)

死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
脳症	13 (0.1)	9 (0.1)	22 (0.1)		22 (0.1)
自殺/拒否	130 (1.0)	71 (0.9)	201 (0.9)		201 (0.9)
腸閉塞	113 (0.8)	92 (1.1)	205 (0.9)	1 (5.6)	206 (1.0)
肺血栓/肺栓塞	53 (0.4)	30 (0.4)	83 (0.4)		83 (0.4)
災害死	107 (0.8)	33 (0.4)	140 (0.6)		140 (0.6)
その他	1,189 (8.8)	786 (9.7)	1,975 (9.1)		1,975 (9.1)
不明	1,021 (7.5)	569 (7.0)	1,590 (7.3)	1 (5.6)	1,591 (7.3)
合計	13,553 (100.0)	8,097 (100.0)	21,650 (100.0)	18 (100.0)	21,668 (100.0)
記載なし	183	95	278		278
総計	13,736	8,192	21,928	18	21,946

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

解説

2005年死亡患者の死亡原因分類

年間の死亡者数は経年的に増加しており、この理由として高齢者の増加と糖尿病性腎症によるものと推測されます。

2005年末の死亡原因は従来通り、心不全 (25.8%)、感染症 (19.2%)、脳血管障害 (9.8%)、その他 (9.1%)、悪性腫瘍 (9.0%) の順となっています。性別による差がみられるのは心不全と脳血管障害が女性に多く、悪性腫瘍、心筋梗塞が男性に優位であることが特徴となります。